

Eーメンバーからの意見①(4月15日現在提出分)

平成22年4月19日 公共施設再配置計画担当作成

No.1 男性 49歳

第2回検討委員会の内容を拝見しての意見として

### 1. 配布資料からの意見

配布資料2：『公共施設の管理運営に係る人件費の内訳』

桜土手古墳展示館と古墳公園で、それぞれ正規職員の人件費が計上されていますが、展示館側の人件費に含めることで圧縮はできないものでしょうか？

公園は見たところ、単に古墳群が整備されているだけであって、特に正規職員を投入する理由は見当たらないような気がします。

秦野市交通公園の年間の稼働率はどの位なのでしょう？

正規職員0.1ということは、それほど多くないと思います。予約が入った時だけ出向くという形態でしょうか？

わざわざ公園として整備するよりも、学校のグラウンドで用具を置いて指導・教育する方がコスト的に妥当だと思いますが、必然性としてはどうなのでしょう？

このような公園があることは知りませんでした。

それと、“施設管理（芝刈、植栽の手入れなど）が発生する場合がある”とサイトでは謳っていますが、臨時・非常勤でもコストが計上されていません。これはどうなっているのでしょうか？

低未利用地に正規職員の人件費が計上されていますが、関わっている理由は、「見回り」などの業務と理解してよろしいでしょうか？

年間160万円超となっていて、市営駐車場の人件費も上回っていますが、その妥当性を知りたいと思います。

配布資料6：『秦野市市民意識調査報告書』

これは単純な疑問として、秦野市の現状満足度および施策期待度での加重平均でのウエイトのかけ方ですが、各選択肢の距離感を考えると、「どちらともいえない」は+1点ではなく、±0点とする方が自然と思いますがどうなのでしょう？

普通、「どちらともいえない」は、良いとも悪いとも評価できないニュートラル（中庸）の意見と捉えるべきで、そうすると+というウエイトは成り立たないような気がします。

このような5段階評価の質問の場合、回答として「どちらともいえない」に振れるケースが多いですが、+1点の加重とすると、結果として高めの平均に出してしまう懸念はないのでしょうか？

それと、得点の散布図ではなく、多変量解析の相関分析をした方が、もっと面白い結果が出たかも知れません。

## 2. 会議録からの意見

＞各館の館長に必ず1名の正規職員を置いている。

＞実際の支給額は、720万円くらいになる。

これは有識者スタッフも言っていますが、私も率直に高い気がします。

正規職員ということは当然異動があると思いますが、異動前、異動後の役職との整合性を考えての報酬という感じもします。

「自主事業の企画」という話が出ていますが、各館を競わせて能力給的な意味合いを持たせた支給にした方がいい感じもします。

＞教育長は「この再配置が進んでいく中で、学校が教師と子どもたちだけの聖域だという考えを一切捨ててほしい。タブー視をしないということを覚悟してください。」と言っていた。

“学校は学校のためにある”という垣根を取り去ることは、「集中と選択」の過程で、大事な示唆だと思います。放課後や夜の、教室・学校施設の有効活用は具体的な施策として検討するべきだと思います。

＞公共施設の面積は少ないのに、充てるお金が足りていない。なぜ足りなくなるのかというところを考えなければならない

＞市民一人当たりの担税力が少ない。

＞財政規模と比較して他市の負担よりも重いのは、扶助費と幼稚園費であるが、それは他市と比べれば、公立幼稚園が圧倒的に多いから。

＞受益者負担の割合が低いならば、ひとまずは負担率を上げるのが公平だ。

＞就園率は50パーセント程度と非常に落ち込んでいる。

公共施設再配置の大きなポイントのひとつは、やはり、幼稚園や保育園の問題だと思います。

詳細は長くなるので避けますが、ひとつは幼稚園を共通カリキュラム以外に「専門特化」化、例えば、A幼稚園は「食」、B幼稚園は「技」、C幼稚園は「動植物」、D幼稚園は「知識」・・・という具合に役割分担化し、時間割によって園児を巡回バスで送迎するという手があります。

以上、雑駁であります。第2回検討委員会の内容を拝見しての意見です。

【以下、事務局による記載です。】

※ 配布資料6『秦野市市民意識調査報告書』への意見に対する市民意識調査業務受託業者の見解

ご指摘の通りです。

本来は等間隔（重み点差が等間隔）であるべきものであり、「どちらともいえない」の回答について、前後の選択肢をプラスマイナスで設定した場合、本来は0とすべきという判断もあったと思われます。+1のウェイトを掛けたことで全体として高めに結果が出てしまうことはご指摘の通りです。

但し、今回の分析は、いわゆる相対評価で選択肢を見ることを前提としたもので、評価全体への影響はないものと判断しております。